

# 米原市の生活保護を問う



# 放課後児童クラブの状況を問う

## 米原市民報

日本共産党米原市会議員

山脇正孝 Tel.52-1093

日本共産党湖北地区議員団

事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

第4回定例会は11月30日から12月21日まで開催されます。議案23件、請願1件(種子生産にかかる県条例の制定に関する意見書提出を求めること)、計24件の議案等が提案されます。また、1件の追加議案が提案される予定です。定例会日程と山脇議員の一般質問は次のとおりです。

### 定例会日程

- 11月30日 日本会議(議案説明)
- 12月5日 一般質問
- 12月10日 12日各常任委員会
- 12月18日 予算常任委員会
- 12月21日 最終日(採決)

### 一般質問の概要

山脇正孝議員の一般質問の概要は次のとおり。また質問時間は6日の3番目午前11時ごろの予定です。

#### 生活保護費削減の影響は

2013年の生活扶助費、2015年の住宅扶助、冬季加算の削減および10月の生活扶助削減が行われている。米原市は生活保護基準でもっとも低い「3級地の2」に該当しているが、10月以降の受給実態はどうなのか数字も示していただきたい。

#### 生活保護基準は妥当か

保護基準は、憲法第25条で保障された「健康で文化的な生活」を送るための最低ラインを定めたものである。現在の保護基準は、年収階級を10段階に分けた場合の最も低い10%の所得層との比較をもとに算出する、水準均衡方式で決められている。しかし、この方法だと、低所得者層の生活水準が下がれば保護基準も下が

るといふ悪循環を招き、格差が広がることにつながっていくと思われる。さて、この現在の比較方法で行われている水準均衡方式についての見解と、国への改善方策の要望をしていただきたい。

#### 生活保護の利用者の割合は

生活保護の捕捉率は、生活保護を利用する資格がある人のうち実際に利用して人の割合である。そこで、米原市での生活保護の捕捉率はどうか。また、制度の周知について、米原市ではどのようなことを行っているのか。

#### 分かりやすい生活保護のこおり

「生活保護のしおり」は、県の指導を受けて今改定中ということだが、改定の主な内容、いつごろできあがるのか。

#### 収入申告について

厚労省は、生活保護の利用に関して適正な収入申告が行われなかったとしても、やむを得ない事情があれば不正受給として取り扱わない場合があり得るという考え方を3月に通知で示したが、市での実際の運用はどうか。

#### 放課後児童クラブの状況

来年度の放課後児童クラブ

ブ募集で待機児童が出る見込みか、また保護者への通知はいつ頃出す予定か、問う。

#### 待機児童対策は

応募したが、実際に入れない保護者に対して丁寧な説明と継続的な連絡を行う必要があると思うが、どうか。また入会できなければ生活設計そのものを変えなくてはならない保護者が出てくる。待機児童をなくす対策はどう考えているのか。

#### 支援員確保と待遇改善

児童支援員の確保が緊急の課題だが、来年度の賃金単価引き上げはあるのか。

#### 保護者負担増の検証は

本市では来年度から年間利用者の負担は1か月9千円へと大幅値上げし、保護者のなかには一定の批判と不安が広がっている。8千円の負担でよかったのか、9千円にする必要があったのか、検証し、改善策を講じるべきだと思うが。

#### 予算編成の問題も

来年度の予算編成の枠配分方式の問題点、教育・福祉についてのシーリング問題について当局に問います。



#### 雑感

日本の形を変える法律がわずかな時間の審議で国会を通過しようとしています。出入国管理法改定案が衆議院で強行採決され参議院に送られました。米原市の中にも多くの外国人が働いています。どのような資格で入国されて働いておられるのか私たちは十分分かりませんが、将来は日本の産業を支える市民として、また地域の隣人として受け入れていかなければなりません。ただ安上がりな労働力としてのみ捉えることは許されません。また参議院では水道法の改正が議論をされています。海外の企業含む会社が水道事業を行なえる改定です。生活の基本となる水が利益の対象になるとするものです。世界の多くの所で、民営から公営に変わっているとのこと。安全・安心な水事業は公共事業としてやってきたからだ。おかしい。